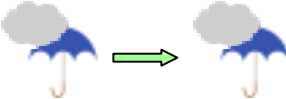





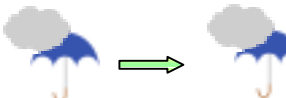

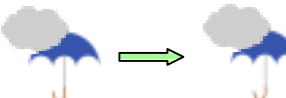

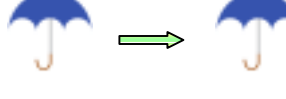

















## 【産業動向概要】

<p><b>産業全体</b></p> 	<p>04年1月を中心とする県内経済の動向は、需要は大型小売店販売額や公共投資などが前年実績を下回ったが、設備投資が企業収益改善等を背景に回復。生産も鉱工業生産指数が前月上昇に転じたほか、雇用では有効求人倍率が連続して前月上回るなど、改善の傾向が出ており、企業の生産活動や設備投資の上昇を背景に、県内経済は改善の動きを続けている。</p>
--	---

























<p>観光・旅館業</p>			<p>伊豆地域における観光動向は、年末年始は天候に恵まれたこともあり、宿泊客数は概ね前年並み、観光施設への入込み客数も屋外型を中心にまずまず。河津桜まつりの観光客数は昨年比10%増となり、2月、3月の地域全体の観光客数を下支えしている。</p>
<p>紙類</p>			<p>古紙価格は引続き高水準で推移。衛生用紙の需要はやや弱含み、メーカーは在庫抑制と価格引上げに取り組んでいる。段ボール原紙も、原料古紙の不足・高騰や、昨年引き上げた価格維持をめざして、引続き生産調整と在庫抑制を進めている。</p>
<p>水産業</p>			<p>03年11月～04年1月期の静岡県主要漁港の水揚げ量総量は51,859トン。主要マグロ類では、冷凍物のビンナガ、キハダの増加が顕著だが、冷凍本マグロが減少し、生のビンナガ、本マグロは漁獲がなかった。他の魚種では、マアジ以外前年同期と比べ減少している。</p>
<p>一般機械</p>			<p>03年11月～04年1月期における一般機械の県内生産額は、147,055百万円（前年同期比▲15.0%減）となった。金属工作機械、プラスチック機械は好調だが、製紙機械は在庫調整の影響を受け、前年同期比を大幅に割っている。</p>
<p>木材</p>			<p>住宅新設着工件数は、昨夏の駆け込み需要の反動で減少。県内製材品の生産量は、ツガ材に対する需要低下により依然低レベルで推移。品薄により価格は上昇傾向であったが、春先から原産地におけるストライキも終息、天候要因もなくなることから安定するものとみられる。</p>
<p>缶詰</p>			<p>03年12月～1月の水産缶の県内生産量は前年同期を下回った。原料のカツオは、今後良質のものが多くなる見通し。農畜産も前年同期比減だが、野菜缶、ペットフード缶が全体を下支え。飲料缶は茶系飲料の成長鈍化が顕著、今後も飛躍的な増加は期待できない。</p>
<p>楽器</p>			<p>昨年1年間の動向をみると、ピアノは3年ぶりに前年実績を上回り堅調に推移。国内向けは前年実績をやや下回ったが、海外向けは堅調、販売数量は前年実績を上回り、国内向けの不振をカバーした。 電子楽器類は、海外生産シフトが進み生産量は大幅に減少した。</p>

輸 送 用 機 器  	  		03年11～04年1月期の二輪車生産台数（完成車）は、302千台と前年同期実績を下回った。国内向け、海外向け両方が減少となり、特に国内向けの減少幅が大きかった。海外組立用部品は、前年同期比を大きく上回った。自動車部品は、需要低迷の影響で、前年同期比を下回った。
	二輪車 	自動車部品 	

 明 る い	 やや明るい	 停 滯	 やや不振	 不 振
--	--	---	---	--

## 《産業別天気マークの推移》

 明るい 
  やや明るい 
  停滞 
  やや不振 
  不振

調査対象時期 (公表時期)	02/1 (02/3)	02/4 (02/6)	02/7 (02/9)	02/10 (02/12)	03/1 (03/3)	03/4 (03/6)	03/7 (03/9)	03/10 (03/12)	04/1 (04/3)
概況 		→							
観光・旅館業 		→							
紙類 				→				→	
水産 		→		→					
一般機械 		→							
木材 		→							
缶詰 		→							
楽器 		→							
輸送用機器 		→			→				